

# フェーズ4

## ～改善・発展サイクルの定着～



✓	<b>Check!</b> (実施しているものにチェック)	参考
□	【開発会議】方針の改善・発展と支援	
□	フェーズ2～3のPDCAサイクルの定着 持続的に改善・発展できる仕組みづくり (カリキュラム改善に向けた合同会議の定期開催 等)	
□	改善・発展のため、接続する園・小学校で、子どもの学びや生活を具体的にイメージして話し合う場を設定	ワーク 10、11
□	子どもの実態に応じて、各園・小学校の創意工夫を生かした動的なカリキュラムに	(参考資料) 1年生公開授業 の取組例

### ★実施のポイント

#### ○最初から100%完成を目指さず、実践しながら改訂していく

初年度は50%くらいの完成度でも大丈夫です。そして、次年度も共通の視点で見直しながら改訂していきましょう。

#### ○担当者が変わっても持続的・発展的にカリキュラムの見直しができる体制を

せっかく作ったカリキュラムも、担当者が変わると、実行性のないものになってしまう、ということはありませんか。

前年度に共通理解したことについてしっかり引き継いだ上で、新年度の子どものたちの実態から、見直していくことが大切です。

フェーズ1～3のワークの中から選択したり、ワークシートをカスタマイズしたりして、保育者と小学校教員でのワークを繰り返しながら、カリキュラムや実践を改善・発展する過程を大切にしましょう。

多くの保育者・小学校教員・教育委員会関係者、保護者にも、架け橋カリキュラムの考え方について共有し、取組を広げていきましょう。

保育者と小学校教員  
(7月8月)

## スタートカリキュラムを見直そう ～保育者と小学校教員で一緒に合科的な授業を考えよう～

保育者と小学校教員と一緒に合科的な授業を考えるにあたり、アイスブレイクなどで協議しやすい雰囲気をつくっていく。合科的な授業について考えることを通して、幼児教育と小学校教育の共通理解を図る。幼児教育と小学校教育の違いや互いの教育方法などを理解し合えるように構成する。

**準備** 小学校一年生の教科書(全教科)、ワークシート

<p>1. アイスブレイク (10分)</p>	<p>○「猛獣狩りゲーム」(人数合わせ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な歌を楽しみながら、参加者同士が自然と手をつないだり、会話を楽しんだりする。猛獣狩りゲーム自体が合科的な学びであることを知らせていく。</li> </ul>	
<p>2. 合科について共有 (10分)</p>	<p>○「合科的とは何か」「幼児教育とは何か」を示す。 ※参考：小学校学習指導要領(平成29年告示 文部科学省)</p> <p>○グループ協議の流れの説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に指定したグループに分かれ、合科的な授業の内容及び導入を考える。</li> <li>・協議内容をシェアする際には、教師役と児童役に分かれ模擬授業的に行う。</li> </ul>	
<p>3. 架け橋タイム (グループ協議) (30分)  (30分)</p>	<p>○合科的な授業について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育と小学校教育のアイデアを盛り込んで柔軟な発想を取り入れていく。</li> <li>・導入から自然な流れで授業に入っていけるようにする。</li> </ul> <p>○グループ協議をシェアする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合科的な授業に取り入れる教科やねらいを伝える。</li> <li>・導入部分の5分間を模擬授業として発表する。</li> <li>・残りの流れを口頭で発表する。</li> </ul>	
<p>4. 振り返り (10分)</p>	<p>○学びの振り返りをし、今後の保幼小の継続した連携の必要性和有効性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;参加者からの意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく取り組むことで、柔軟な思考で取り組めた気がします。</li> <li>・小学校の指導法に幼児教育が加わり、アップデートされ有意義に感じた。</li> </ul> </div>	

### <進め方のポイント>

- ・アイスブレイクで活動しやすい雰囲気をつくることで、グループ協議を活性化し、合科的な授業についての理解を深める。
- ・合科について理解を深めたことを自園、自校の架け橋カリキュラムの改善に生かしていく。

私たちは「                      」と「                      」と「                      」の  
合科的な授業を考えました！

グループ名 \_\_\_\_\_

○ ねらい

○ 準備物等

○ 授業の流れ

学習内容・活動	気を付けること・配慮点

- ・合科的な指導とは、各教科等のねらいを効果的に実現するため、単元または1コマの時間の中で、複数の教科等の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開する指導方法です。入学当初は、幼児期における遊びを通した総合的な学びを生かし、教科等の学習へ円滑に移行するため、合科的・関連的な指導の工夫が大切です。
- ・協議では、意見を活発に出し合う時間を大切にするため、細かく書かず、発表メモとして活用しましょう。

# 【参考資料】小学校のスタートカリキュラム公開授業の取組事例

○市町村内でスタートカリキュラムの公開授業（4月）を毎年1校ずつ実施

○参加者：市町村内の保育者・小学校教員・管理職・教育委員会関係者 等

当日は、スタートカリキュラムまでの校内研修等の取組の経緯や当日の授業の参観のポイントについて、教務主任より参観者へ説明をした上で、授業参観を行った。

## <前年度からの取組の様子（校内研修）>（教務主任説明資料より）

### 1 スタートカリキュラムを知ろう

「スタートカリキュラム」とは、**幼児期に遊びを通して育まれた力を生かして、教科などの学習に円滑に接続するための小学校入学当初のカリキュラムのこと**です。実施に当たっては、生活科を中心として**合科的・関連的な指導を行うことや、弾力的な時間設定を行うことについて共通理解を図りました。**

**職員をつぶやき**  
幼稚園では、どんな活動をして、どんな力を育てているのか？

### 2 幼稚園での取組を知ろう

**幼稚園の主幹教諭より幼稚園の取組についての講話**

毎日子どもたちのかかわりの中から**興味・関心のあること**を見出す。

自分たちの思いを実現させるためには**どうすればよいか、考えを出し合い、試行錯誤**できるような言葉かけをする。

自分たちの思いが**実現できた達成感**を共有する。

**一人一人の思いを対話から見つけることが大切**

**職員の気付き**  
与えるのではなく、自ら学ぶための居場所づくり、場の設定が大切

### 3 小学校の学習になめらかに接続するためには

**幼稚園、保育園の先生と一緒に学習内容を考える**

幼稚園や保育園で、子どもたちが**興味・関心があること**（遊び、歌、本など）の情報。

**スタートカリキュラムの学習内容を一緒に考える。**

小学校入学してからの**学習内容**（国語、算数、生活、音楽、体育）の情報。

**一人一人の興味や関心をどのようにして学習につなげていくか。**

### 4 幼稚園・こども園との交流

**幼稚園との交流**

- 幼稚園生を招待したいね。
- 招待状を作って、何をやりたいか聞いてみよう
- 招待状を届けよう
- 返事を読んで話し合い、準備をしよう
- 学校探検グループ、フラフープグループ、ドッジボールグループ、サーキットグループ、勉強グループなど
- 質問タイム「小学校について聞きたいこと」
- 振り返りをしよう

**こども園との交流**

- オンラインで交流しましょう
- オンラインで何ができるか話し合おう
- 国語科で学習したクイズを出そう
- 質問タイム
- 「小学校の給食はおいしいですか」
- 「なんの勉強が楽しいですか」
- 「休み時間は何を遊んでいますか」
- 振り返りをしよう

**自分たちで話し合い、実践できた達成感を感じ、自信をもつことができた**

## <当日の授業について・取組による教職員の意識の変化>

### 5 今日の授業に向けて

**朝の活動**  
・読書、ぬりえ、工作、つみ木、折り紙

**朝の活動**  
・フラフープ、玉入れ、リバーシ、ボールなど

**教師と児童の対話の中から学習へつなげる**

・折り紙の本を探したい。  
・ぬりえのキャラクターの本を探したい。  
↓  
**道徳、国語科の学習へ**

・赤い玉と白い玉、どっちが多いかな？  
・何点の的に当たったかな。  
↓  
**算数科の学習へ**

**主体性 達成感 探求心**  
学びの積み重ねが自己実現につながる

### 6 教職員の意識の変化

小学校とこ保幼ではカリキュラムが違う

スタートカリキュラムは、1年生担任とこ保幼でやればいい

**自分の学びを獲得できる場の設定**

**児童一人一人に対する言葉かけ**

**意欲を引き出し、学習につなげる働きかけ**

1年生から6年生まで、また他教科にも役立つもので、今後の授業改善につながる。

一人一人への言葉かけが大切だと分かっているつもりでしたが、こ保幼と連携したことによって、見直すことができ、新たな発見ができました。

**意識の変化**

第1学年1組 国語科「おはなし だいすき」「としょかんへいこう」  
道徳 みんなで使うもの「がっこうのものは？」

指導者 教諭  
朝の活動支援 生活指導員  
読み聞かせ 図書館指導員

本時のポイント 自分の思いを実現させるための話し合いを中心とした活動の工夫

1 本時のねらい

- ◎約束やきまりを守り、みんなが使うもの（場所）を大切に使う心育を育てる。
- 読み聞かせを楽しみ、読書への意欲を高めることができる。
- 自分がやってみたいことに向かってがんばることができる。

2 準備物

折り紙、ぬり絵、色鉛筆、空き箱、積み木、はさみ、のり、セロテープ、絵本、図書室招待状

3 学習の流れ

時間	学習内容	教師の働きかけ・指導上の留意点
登校後～	1 朝の活動「なかよしタイム」を行う。 ・読書・読み聞かせ ・ぬり絵 ・折り紙 ・空き箱・積み木 など	・登校後、準備をすませたら担任に健康状態を伝え会議室へ行き、自由に遊ぶ。安全面に配慮する。 ・教室や会議室の黒板に活動の流れを示し、手順が分かるようにしておく。 ・児童の活動を見取り、一人一人のつづやきに適切にフィードバックする。 ・使いたい物が選べるように、材料や教材を置く場所を工夫する。
8:30	2 今月の歌「さんば」を歌う。	・音楽が流れたら片付けを始め、片付けが終わった順に集合する。今月の歌を歌うことで遊びの終わり、授業の始まりの切り替えができるようにする。
8:35	3 朝の遊びについて話し合う。 ・箱を10個積んでタワーにしたよ。 ・「ぐりとぐら」の絵本がおもしろかった。 ・ぬり絵で絵本を作ったよ。	・それぞれどんな楽しい時間を過ごしたのか丁寧に聞き取り、思いを受け止める。 ・話し合いの中から読書活動につながる話題を取り上げ、本時の活動にスムーズに入れるようにする。
8:50	4 本時の活動について知り、話し合う。 「本がっぱいの部屋」(図書室)にいきたいな。どんな約束があるよいだらう。 ・静かに読もう。 ・図書室の中は走っちゃだめだね。 ・本にやさしくしよう。 ・読み終わったら、もとのところに戻そう。	・自分の考えを話しやすいように、2-3人の少人数グループで意見交換をする。 ・図書室に行ったことのある児童は、その時の経験などから考えるよう声かけをする。 ・話し合いによって約束を確認したり、気付きを促したりできるようにする。

- 9:00 5 図書室の先生に、考えた約束を発表する。  
・図書室に入るときは、「失礼します」とあいさつをする。  
・静かに読む。  
・本を破らないように丁寧に扱う。

◎道徳 約束やきまりを守り、みんなが使うもの（場所）を大切に使う心育を育てる。(観察)

- 9:10 6 決めた約束を守りながら、図書室へ行く。  
・本がたくさんあってわくわくする。  
・早く読みたい。

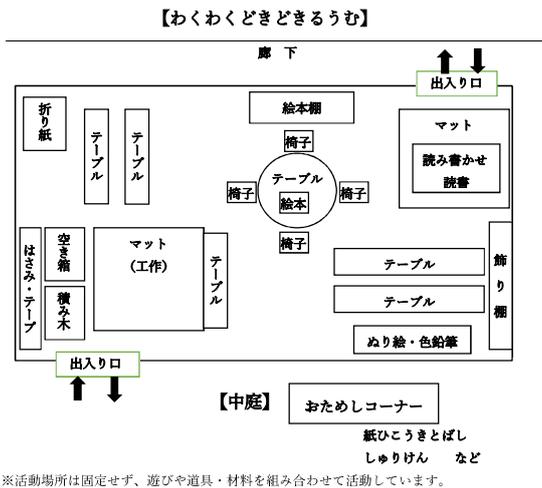
・本の借り方・返し方は、次時の図書オリエンテーションで行う。  
・自分たちで考えた約束を守って図書室に来室できたことの喜びや達成感が味わえるよう言葉かけをする。

- 9:20 7 読み聞かせを聞く。

◎国語 読み聞かせを楽しむことができる。

主体的に学ぶ力(観察)

4 教室環境(会議室)



第1学年2組 算数科「10までの数」

指導者 教諭  
SS (スタディ・サポート)  
朝の活動支援 教諭  
生活指導員

本時のポイント 自分の思いを実現させるための活動の工夫

1 本時のねらい

- ◎身の回りにあるいろいろなものの個数を数えようとしている。
- 自分がやってみたいことに向かってがんばることができる。

2 準備物

ボール、フラフープ、リバーシ、紅白玉、ケンステップ、CDプレーヤー、カラーコーン、ホワイトボード(小)、用紙、筆記用具

3 学習の流れ

時間	学習内容	教師の働きかけ・指導上の留意点
登校後～	1 朝の活動「なかよしタイム」を行う。 ・ボール、フラフープ、リバーシ、紅白玉、ケンステップ、ダンス	・黒板に活動の流れを示し、登校後、準備をすませたら、担任に健康状態を伝えて、体育館に行く。 ・自由に活動できるように、教室や体育館に手順が分かるようにしておく。 ・体育館にいろいろな場を用意し、体を動かせるように工夫する。安全面に配慮する。 ・児童の活動を見取り、一人一人のつづやきを適切にフィードバックする。
8:25	2 今月の歌「さんば」を歌う。	・音楽が流れたら片付けを終えてから集合し、今月の歌を歌うことで遊びの終わり、授業の始まりの切り替えができるようにする。
8:30	3 朝の遊びについて話し合う。	・「たくさんあった」「足りなかった」など児童の思いの中から数につながるものを取り上げ、実際にいろいろなものの数を数えてみたいという意欲へつなげる。
8:45	4 本時の活動について知り、数を探す活動をする。 いろいろなもの かずを かぞえよう。 ① 自分の使ったものを数える。	・ホワイトボードや用紙を用意しておき自由に使うよいことを伝える。 ・忘れないようにしたい児童には、メモをしてよいことを伝える。 ・数を数えたり、何をしてよいかやり方が分からない

- ・ボールが8個だった。
- ・赤い玉は10個あった。

【個人一斉】

- ② 同じ数のものを探す。  
・フラフープとボールの数が同じだった。  
・ボールと白玉の数が同じ8個だった。

【個人一斉】

- ③ いろいろなものの数を比べる。  
・リバーシはフラフープより多かった。  
・ボールは8個で10人いたら足りなかった。

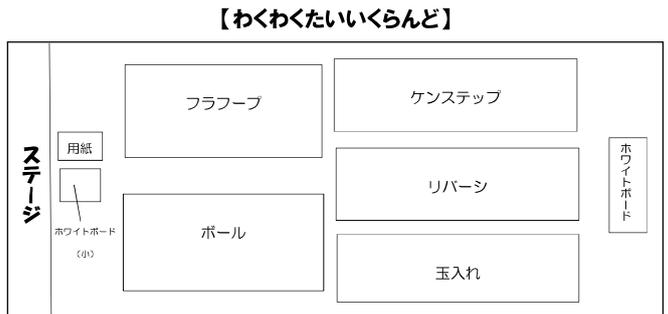
【一斉】

- 9:25 5 学習の振り返りをする。  
・今日の活動を振り返り、できたことや思ったことなどを話し合う。  
・数を数えることができた。  
・使いたい人の数と、ボールの数を比べることができた。  
・教室にあるものも数えてみたい。

かったりする児童には、友達と協力してもよいことを伝える。  
・具体物を操作してもよいことを伝える。  
・片付けの時には、決まった場所に重ねたり、並べたりしておくよう声掛けをする。

◎身の回りにあるいろいろなものの個数を数えようとしている。  
主体的に学習に取り組む態度(観察・発言)

4 教室環境(体育館)



## スタートカリキュラム学習計画（取組例）

		第2日目		第3日目		第4日目		第5日目		第6日目		第7日目		第8日目		第9日目		
朝の時間		♡ななかよしタイム (好きな遊びをしてみてください) 朝の会 ①あいさつ②歌③健康観察 ④今日の予定		♡ななかよしタイム (好きな遊びをしてみてください) 朝の会 ①あいさつ②歌③健康観察 ④今日の予定														
1校時	国	♡本を読んでもらおう ♡歌って踊ってなかよくなろう	国	♡本を読んでもらおう ♡歌って踊ってなかよくなろう	国	♡本を読んでもらおう ♡歌って踊ってなかよくなろう	国	♡本を読んでもらおう 給食に関する本を読んでもらう。	国	♡本を読んでもらおう 春に関する本を読んでもらう。	国	♡本を読んでもらおう 道具を選んで遊ぶ本を読んでもらう。	学	♡自分で本を読んでみよう 学級文庫の中から、好きな本を選び読む。	生	♡「校歌」ってなんだろう お兄さん、お姉さんが歌っている歌はなにかな。		
	音	♡あいさつゲーム	学	♡誰と一緒に来たかな？ 登校時の班長の名前を教え合おう。	学	♡自分の大きさ知ってる？ 自分の身長や体重を言ってみよう。	学	♡学校の給食室を探そう 給食室をのぞいてみよう。	生	♡春といえば 春の理想ゲーム	体	♡校庭で遊びたい 校庭にはどんな道具があるか話し合おう。	国	♡鉛筆で書いてみよう どうしたら上手に線が書けるかな。	音	♡「校歌」を教えてもらおう 音楽室で授業をしている3年生に校歌を教えてもらおう。		
2校時	学	♡学校のはてな？ 困ったことを話し合おう。	行	♡通学班集会	学	♡正しく測るためにはどうしたらいいか考えよう。	学	♡体操服に着替えよう 体重や身長を正しく測るために着替えよう。	生	♡給食のひみつをさがそう 給食について、知りたいことや気になることを出して、調理員さんに聞いてみよう。	生	♡学校の春をさがそう 校庭に出て、自分で春だと思えるものを探そう。	道	♡道具の使い方や遊びのルールを話し合おう。	図	♡線のお散歩をしよう 大きな紙に線をたくさん書いてみよう。	音	
	生	♡持ち物の片付け方はどうするのかな 気持ちのよい整理整頓の仕方について話し合おう。	行		学		生		生		体	♡4年生に道具の使い方や遊び方を教わろう	図	♡線のお散歩をしよう 大きな紙に線をたくさん書いてみよう。	音			
3校時	学	♡帰りのしたくをしよう 下校グループを作ろう。	生	♡クラスの友達知ってる？ 友達の名前を言ってみよう。	学	♡どこで発育測定するのかな どんな教室で測るのかな。 約束はあるかな。	生		生		生		体	♡4年生と一緒に道具を使って遊ぼう 体育の授業を行っている4年生に、道具の使い方を教えてくれるように頼み、一緒に遊ぼう。	行	♡地震や火事がおこったら 地震や火事が起こったらどうすればいいか考えよう。	図	♡好きなものなあに 好きなものをたくさんかいて楽しむ。
	学	♡帰りの準備をする。 下校グループで自己紹介をしよう。	国	♡自分の名前を発表しよう 自分の名前をみんなの前で言ってみよう。	学		国	♡聞いてみたい 調理員さんに絵や手紙で聞きたいことを伝えよう。	図	♡見つけた春を描こう 自分が見つけた春の絵を紙に描いてみよう。	図		体		行	避難訓練	図	
4校時																		
5校時																		

### ♡ななかよしタイム(ピンク)

一人一人が安心感をもち、担任や友達に慣れ、新しい人間関係を気づいていく時間

♡ななかよしタイムは、授業時間以外の教育活動として位置づけたり、各教科等で実施したりする。(各教科等で実施する場合は、その教科等の目標や内容を実現するものである必要がある。)

### 🌱わくわくタイム(緑)

生活科を中心とした体験的な活動や話し合い活動を通して、各教科等との合科的・関連的な指導の工夫を図り、主体的な学びを作っていく時間

### 📖ぐんぐんタイム(青)

教科等の学習に徐々に移行し、教科特有の見方、考え方を身に付けていく時間

【フェーズ4】架け橋カリキュラムの充実  
～既存のカリキュラムにアイデアを加え、内容を深化させよう～

- ・保育者と小学校教員が持参した写真をもとに、「遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと」を中心に子どもたちの遊びや学びの様子を伝え合う。
- ・大切にしたいことのキーワードが見えてきたら、前年度に作成した「架け橋カリキュラム」と照らし合わせ、重なる場所に写真を置いたりキーワードを書き足したりする。
- ・「遊びや学びのプロセス・環境の構成・先生の関わり」について追記したことを共有し、幼児教育と小学校教育の育ちや学びのつながりについての理解を深める。

準備

昨年度作成した小学校区ごとの架け橋カリキュラム(拡大印刷)、付箋紙、カラーペン  
子どもたちが遊びや学びに夢中になっている写真(参加者が持参する)  
校務用タブレット(小学校教員)

1. アイスブレイク (10分)	○自己紹介をする。 氏名、リフレッシュ方法、最近あったうれしかったこと等を紹介する。
2. イメージの共有 (10分)	○本研修会のねらいについて押さえる。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の確認をする。 ・幼児教育と小学校以降の教育は、育みたい資質・能力でつながっていることを確認する。 ・昨年の研修会で作成した小学校区ごとの架け橋カリキュラムに、今回話し合ったことを追記し、内容を充実させることを伝える。
3. 架け橋タイム (グループ協議) (50分)	<p>① 小学校区ごとの「育てたい子どもの姿」を確認する。 ・昨年参加した先生から、どのような願いでキャッチフレーズにまとめたのかを話してもらう。</p> <p>② 架け橋カリキュラムを意識した子どもの姿について語り合う。 ・持ち寄った写真を見せ合い、子どもの姿や育まれている力について、育てたい子どもの姿と関連付けながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」をもとに語り合う。</p> <p>③ 架け橋カリキュラムの内容を充実させる。 ・共通するところに写真を置いたり、「遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと」にキーワードを書き足したりする。 ・話し合いを通して、環境の構成や先生の関わりについての新たな発見をカリキュラムに追記する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>子どもたちが「思考を働かせる」ことを大切にしたいですね。キーワードに加えましょう。</p> <p>子どもたちがのびのびと発言できるようにし、保育者が子どもの気付きを拾っています。徐々に子どもたち同士で発見したことなどを共有できるようにしていきたいですね。</p> <p>小学校でも子どもの「やってみたい」気持ちを大切にするために、柔軟に合科的な授業を取り入れられるよう、校内でも話し合ってみます。</p> </div> 
4. 振り返り (10分)	○全体で気付きや感想を交流する。 ・グループの代表者が、今回新たに出たキーワードを全体に共有する。 ・今回のワークを通して感じたことなど、研修の感想を語り合う。 ・追記した架け橋カリキュラムが今後の実践に生かされるよう、本日の内容を園内(校内)で共有できるようにする。

<進め方のポイント>

- ・市町村主体の研修にする場合は、小学校区でグルーピングすると、より円滑な連携につながる。その際に、前年度の参加者が各グループに入るようにし、前年度に共通理解したことを引き継いだ上でワークを行う。
- ・小学校の先生が話し合いながら校務用タブレットで架け橋カリキュラムのデータを追記しておくこと、研修会後すぐに各幼児教育施設や小学校に共有でき、校内(園内)での情報共有がスムーズになる。

## 参考資料の紹介（○資料 ☆動画）

<p>○「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」（幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料）R 6. 4 文部科学省 HP  <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html</a></p>	
<p>☆「遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽” ～『やってみたい』から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～」R 6. 4 文部科学省動画チャンネル  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=UxfAl3XWfGo">https://www.youtube.com/watch?v=UxfAl3XWfGo</a></p>	
<p>○☆「幼保小の架け橋プログラム」文部科学省 HP  「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」R 4  「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）」R 4 説明動画  「幼保小の架け橋プログラム事業」採択自治体の取組  <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1258019_00002.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1258019_00002.htm</a></p>	
<p>○「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き」H30. 3 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編著  <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_180322.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_180322.pdf</a></p>	
<p>○☆幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）R5. 12 こども家庭庁 HP  <a href="https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi">https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi</a></p>	
<p>○「保育所123」厚生労働省 HP  <a href="https://www.mhlw.go.jp/hoikusyo123/index.html">https://www.mhlw.go.jp/hoikusyo123/index.html</a></p>	
<p>○「一人一人のよさを 未来へつなぐ—学校教育のはじまりとしての幼稚園教育—」文部科学省 HP  <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1422302.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1422302.htm</a></p>	
<p>○「未来をつくり出す力の基礎を培うために 幼保連携型認定こども園ってどんなところ？」こども家庭庁 HP  <a href="https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/kodomoen/gaiyou">https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/kodomoen/gaiyou</a></p>	
<p>○「幼児一人一人が未来の創り手に—幼児教育 Q&amp;A—」  文部科学省委託事業幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究（R 元） 一般社団法人保育教諭養成課程研究会（協力：全国国立幼稚園・こども園長会）  <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1405077_00001.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1405077_00001.htm</a></p>	
<p>○「茨城の幼児教育」（義務教育課）県教育委員会 HP  <a href="https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/early-childhood-education/pdf/">https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/early-childhood-education/pdf/</a></p>	
<p>○☆ポータルサイト「家庭教育応援ナビ」  <a href="https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/">https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/</a>  ○「家庭教育支援資料」→「子育てアドバイスブック ひよこ/クローバー」  ○☆「子育てに役立つマンガ・動画・資料」  ○☆「研修教材・資料」→「就学前教育」  →茨城県保幼小接続カリキュラム（H30. 3）  →保幼小連携・接続の実践事例（R 4、5 ※R 6は12月未追加予定）</p>	
<p>（各要領・指針名で検索・閲覧可）  ○保育所保育指針解説  ○幼稚園教育要領解説  ○幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説  ○小学校学習指導要領解説</p>	

## 「架け橋カリキュラム作成ガイドブック」に寄せて

「架け橋カリキュラム」は、幼児教育と小学校教育の接続を円滑にし、連携を強化するための取組として、現在各自治体で作成が進められています。これまで、接続期のカリキュラムとして、幼児教育ではアプローチカリキュラム、小学校ではスタートカリキュラムを作成し、双方の教育をつなげてきました。「架け橋カリキュラム」は、それらをさらに発展させ、幼児教育の先生と小学校教育の先生が協力し合い、「架け橋期」とされる重要な2年間のカリキュラムを一体的に捉え、共同で作成しようとするものです。この共同作業を通じて、互いの教育方法に対する理解を深め、従来の教育を見直し改善していくことが期待されています。

本資料は、各自治体や学区で架け橋カリキュラムを作成する際のガイドとして、実態に応じた具体的な取り組み例（ワークショップや事例）を示しています。「フェーズ1～基盤作り～」では、互いの教育について理解することから始めます。子ども同士の交流や保育参観、授業参観を通じて、互いの教育理念や方法について理解を深めることが求められます。「フェーズ2～検討・開発～」では、いくつかのワークショップを通じて得られた情報や意見を基に、段階的にカリキュラムを整えていきます。例えば、「育んでいきたい子どもの姿」を共通理解し、具体的な事例を基に「遊びや学びのプロセス・環境の構成・先生の関わり」や「一人一人の子どもに応じた具体的な支援」をカリキュラムに反映させます。このプロセスを通じて、互いの教育への理解がさらに深まることが期待されます。「フェーズ3～実施・検証～」では、実際の教育活動の事例を収集し、これまで作成してきたカリキュラムを見直し、検証します。「フェーズ4～改善・発展サイクルの定着～」では、PDCAサイクルを確立し、継続可能な研修となっているかを確認し、さらなる深化を図る工夫が求められます。

地域によって進捗状況や実態はさまざまです。そのため、どこから始めるか、どこに重点を置いて進めるかは各自治体や学区ごとに異なります。また、最初から完璧なカリキュラムを作成しようとすることは現実的ではありません。むしろ、幼児教育と小学校教育の先生が地域の子どもたちの成長について共通理解を深め、協力しながら、徐々に整えていくという姿勢が重要です。途中でメンバーが変わることもありますので、各フェーズを繰り返したり行きつ戻りつしたりしながら発展させていくことが必要です。架け橋カリキュラムは他の教育課程と同様、完成することはなく、常に見直し、改善、発展していかなければなりません。そのための持続可能な仕組みづくりも求められています。

このガイドが、各自治体や学区での架け橋カリキュラム作成の参考となり、活発な議論と取り組みが進むことを願っています。

茨城大学教育学部 教授 神永 直美



**(令和6年度茨城県架け橋カリキュラム検討会委員)**

神永 直美	茨城大学教育学部教授
宗次 直巳	常磐短期大学幼児教育保育学科助教
立石 友美	ひたちなか市教育委員会指導課主任兼幼児教育アドバイザー
阿部 彩子	茨城町教育委員会学校教育課指導主事
高野 恵美子	笠間市立岩間第一小学校教諭
安齊 友里	日立市立河原子小学校教諭
根本 和典	東海村立村松幼稚園主幹教諭
大藪 友希	学校法人中山学院渡里幼稚園認定こども園わたり主幹教諭
平野 由起子	社会福祉法人栄寿会わかな保育園保育士
小貫 佳子	社会福祉法人栄寿会わかな保育園学童副館長・保育士
半田 彩子	茨城県立内原特別支援学校教諭

**(イラスト)** ワーク4・9のイラストを除く

半田 彩子 茨城県立内原特別支援学校教諭

**(資料提供)**

ひたちなか市立三反田小学校  
潮来市立延方小学校  
東海村立村松小学校  
茨城県教育庁学校教育部義務教育課（「茨城の幼児教育」より）

**(編集)**

和田 秀彦 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課就学前教育・家庭教育推進室長  
高橋 直之 同室長補佐  
中庭 朋子 同指導主事  
鈴木 睦 同主査

※所属先や職名については、資料作成時のものです。

**(追加資料提供)**

**令和7年度**

認定こども園ぶどうの木竜ヶ崎幼稚園  
鹿嶋市立中野東小学校  
茨城町教育委員会  
桜川市教育委員会